

令和3年度

授 業 計 画 書

学科・学年	鍼灸学科 2年	科目名	生理学Ⅱ	授業時期	後期	授業時数	30
実務経験		担当	池田 沢子	授業方法	講義	単位数	1
到達目標	人体の仕組みを学び、生命現象の機序を理解する。			評価方法			
授業概要	教科書をベースにした資料を配布し、講義を行う。			期末試験 100% (100点換算で60点以上で合格)			
教科書等	生理学-第3版- 東洋療法学校協会	使用器材	液晶プロジェクター、教科書及び配布プリント				
週	授 業 項 目 ・ 内 容					実施結果	
第1週	第12章 運動	骨格筋の神経支配					
第2週	第12章 運動	運動の調節①					
第3週	第12章 運動	運動の調節②					
第4週	第12章 運動	錐体路系					
第5週	第12章 運動	錐体外路系					
第6週	第13章 感覚	感覚の分類					
第7週	第13章 感覚	感覚の分類と一般的性質					
第8週	第13章 感覚	体性感覚					
第9週	第13章 感覚	内臓感覚					
第10週	第13章 感覚	痛覚					
第11週	第13章 感覚	味覚と臭覚					
第12週	第13章 感覚	聴覚					
第13週	第13章 感覚	平衡感覚					
第14週	第13章 感覚	視覚					
第15週	まとめ						
授業外 学習指示等	講義内容をよく復習し、生体のしくみについての知識を深めること。						

令和3年度

授 業 計 画 書

学科・学年	鍼灸学科 2年	科目名	東洋医学臨床論はりきゅう (西洋医学論) I	授業時期	後期	授業時数	30
実務経験		担当	佐々木 一泰	授業方法	講義	単位数	1
到達目標	臨床上、頻度の高い各疾患について、西洋医学的な知識を深める。また、各疾患に対する現代西洋医学的な鍼灸治療法を学び、更に応用できるようにする。			評価方法			
授業概要	教科書をベースにした資料を配布し、講義を行う。徒手検査などは実際に実技を行い、理解と技術の習得を行う。			期末試験 100% (100点換算で60点以上で合格)			
教科書等	東洋医学臨床論(はりきゅう編)	使用器材	液晶プロジェクター、教科書及び配布プリント				
週	授 業 項 目 ・ 内 容					実施結果	
第1週	治療各論 : スポーツ外傷 障害 (運動性肩関節痛 2)						
第2週	治療各論 : 食欲不振 肥満						
第3週	治療各論 : 発熱 のぼせと冷え						
第4週	治療各論 : 不眠 疲労と倦怠						
第5週	治療各論 : 発疹						
第6週	治療各論 : 小児の症状						
第7週	治療各論 : スポーツ外傷 障害 (運動性肩関節痛 1)						
第8週	治療各論 : スポーツ外傷 障害 (運動性肘関節痛)						
第9週	治療各論 : スポーツ外傷 障害 (運動性腰痛 1)						
第10週	治療各論 : スポーツ外傷 障害 (運動性腰痛 2)						
第11週	治療各論 : スポーツ外傷 障害 (運動性膝関節痛 1)						
第12週	治療各論 : スポーツ外傷 障害 (運動性膝関節痛 2)						
第13週	治療各論 : スポーツ外傷 障害 (運動性下肢痛)						
第14週	老年医学における鍼灸治療						
第15週	まとめ						
授業外 学習指示等	講義内容をよく復習し、各疾患についての知識を深めること。						

令和3年度

授 業 計 画 書

学科・学年	鍼灸学科 2年	科目名	臨床医学各論 I	授業時期	後期	授業時数	30
実務経験		担当	加藤 孝紹	授業方法	講義	単位数	1
到達目標	臨床に必要な各臓器の主な疾患について概念、疫学、成因や病態生理、症状、診断および治療などについて詳しく教授する			評価方法			
授業概要	教科書をベースに配布プリントを作成、配布し講義を進めていく。临床上必要な知識については別途資料を配布し知識を深めるようにする。			期末試験 100% (100点換算で60点以上で合格)			
教科書等	臨床医学各論	使用器材	液晶プロジェクター、教科書及び配布プリント				
週	授 業 項 目 ・ 内 容					実施結果	
第1週	整形外科疾患 その2						
第2週	整形外科疾患 その3						
第3週	整形外科疾患 その4						
第4週	整形外科疾患 その5						
第5週	整形外科疾患 その6						
第6週	整形外科疾患 その7						
第7週	整形外科疾患 その8						
第8週	整形外科疾患 その9						
第9週	整形外科疾患 その10						
第10週	循環器疾患 その1						
第11週	循環器疾患 その2						
第12週	循環器疾患 その3						
第13週	血液・造血疾患 その1						
第14週	血液・造血疾患 その2						
第15週	まとめ						
授業外 学習指示等	講義内容をよく復習し、各疾患についての知識を深めること。						

令和3年度

授 業 計 画 書

学科・学年	鍼灸学科 2年	科目名	臨床実習前施術実技試験	授業時期	後期	授業時数	30
実務経験		担当	星野 英二	授業方法	実習	単位数	1
到達目標	3年時の臨床実習や卒業後の臨床に備え、医療面接の手法、各種徒手検査の実施、治療方針決定から配穴まで、臨床の一連の流れについて理解し、実践できる様にする。			評価方法			
授業概要	配布するテキストをもとに座学を行い医療面接における基本を学習する。その後斑分けをしロールプレイを行い、実際の間診技法について練習を行う。			期末試験 100% (100点換算で60点以上で合格)			
教科書等	講義プリント配布	使用器材	液晶プロジェクター、配布プリント				
週	授 業 項 目 ・ 内 容					実施結果	
第1週	ガイダンス 医療面接について						
第2週	診療記録(カルテ)の意義、記入方法						
第3週	医療面接における各種手法①(医療面接時の態度など)						
第4週	医療面接における各種手法②(医療面接時の質問方法など)						
第5週	病態把握1(現代医学的病態把握の方法①)						
第6週	病態把握2(現代医学的病態把握の方法②)						
第7週	病態把握3(東洋医学的病態把握の方法①)						
第8週	病態把握4(東洋医学的病態把握の方法②)						
第9週	医療面接ロールプレイ①						
第10週	医療面接ロールプレイ②						
第11週	医療面接ロールプレイ③						
第12週	医療面接ロールプレイ④						
第13週	医療面接ロールプレイ⑤						
第14週	医療面接ロールプレイ⑥						
第15週	まとめ						
授業外学習指示等	講義内容をよく復習し、効果的な医療面接の方法について検討し実践できるように努めること。						

令和3年度

授 業 計 画 書

学科・学年	鍼灸学科 2年	科目名	東洋医学臨床論はりきゅう (東洋医学編) I	授業時期	後期	授業時数	30
実務経験		担当	柗木 明子	授業方法	講義	単位数	1
到達目標	演習により、各項目を順次理解し、鍼灸治療が行えるようにする。実際の臨床における能力向上のために、鍼灸治療体系の理解を深める。			評価方法			
授業概要	1年生の東洋医学概論の概念・解説を含みながら、主要症候の病因病機を理解し、鍼灸治療が行えるように、東洋医学領域の基礎知識の整理とともに、問題演習等を教授する。			期末試験100% (100点換算で60点以上で合格)			
教科書等	東洋医学臨床論(はりきゅう編)、 配布プリント	使用器材	PC、液晶プロジェクター				
週	授 業 項 目 ・ 内 容					実施結果	
第1週	主要証候に対する鍼灸治療法 復習						
第2週	10 咳嗽	(P43~44)					
第3週	11 喘息	(P46~47)					
第4週	12 胸痛	(P49~50)					
第5週	13 胃脘痛	(P52~54)					
第6週	下腹部痛	(P54~55)					
第7週	小テスト						
第8週	14 悪心嘔吐	(P57~58)					
第9週	15 便秘	(P60~62)					
第10週	下痢	(P62~63)					
第11週	16 月経異常 ①経早	(P65~66)					
第12週		②経遅	(P67~68)				
第13週		③経乱	(P68~69)				
第14週	主要証候に対する鍼灸治療法 まとめ						
第15週	まとめ						
授業外 学習指示等	1 講義に臨む前に教科書の該当箇所を読んでおき、判らない所があったらそれを書き出しておくこと。 2 復習は、特にその日の授業の重要事項をその日の内に振り返ること。						

令和3年度

授 業 計 画 書

学科・学年	鍼灸学科 2年	科目名	運動学	授業時期	後期	授業時数	30
実務経験		担当	星野 英二	授業方法	講義	単位数	1
到達目標	1.関節と運動の力学について説明できる。 2.姿勢(重心と重心線)とその異常について説明できる。 3.運動路・感覚路および反射と随意運動について説明できる。 4.身体各部の機能について説明できる。 5.正常歩行と異常歩行について説明できる。			評価方法			
授業概要	鍼灸施術に必要な整形外科的所見等を運動学の観点から理解できるよう解剖学の運動器領域を再確認しながら1.運動学の基礎、2.身体各部の機能を学習する。			期末試験100% (100点換算で60点以上で合格)			
教科書等	リハビリテーション医学	使用器材	パワーポイント				
週	授 業 項 目 ・ 内 容					実施結果	
第1週	運動のしくみ						
第2週	1 運動学の基礎 A 関節と運動の力学 B 姿勢とその異常						
第3週	C 運動路と感覚路 D 反射と随意運動						
第4週	運動の基礎のまとめ						
第5週	2 身体各部の機能 A 脊柱・体幹の機能						
第6週	B 肩甲骨・肩の機能						
第7週	C 肘と前腕の機能						
第8週	D 手と手指の機能						
第9週	E 骨盤と股関節の機能						
第10週	F 膝関節の機能						
第11週	G 足の機能						
第12週	H 正常歩行と異常歩行						
第13週	I 顔面及び頭部の筋						
第14週	身体各部の機能のまとめ						
第15週	まとめ						
授業外 学習指示等	復習は、特にその日の授業の重要事項をその日の内に振り返ること。						

令和3年度

授 業 計 画 書

学科・学年	鍼灸学科 2年	科目名	臨床医学総論	授業時期	後期	授業時数	30
実務経験	病院勤務6年(脳神経、鍼灸治療全般)	担当	原 敬昌	授業方法	講義	単位数	1
到達目標	1 医療面接、身体診察法を身につけ医学的臨床能力として活用できる。 2 医学的知識の補填に努め、これまでの単語や内容を全て口頭で説明できる。			評価方法			
授業概要	医療面接、現症から始まる診察の過程を学習し、さらに様々な症候をまなぶこと によって患者の持っている異常を的確に把握し、それに対する評価と正確な診断 のための計画の構築といった診断学の基本を学ぶ。後期では、これまでに得た 身体的診断に臨床検査を加え、鑑別診断から病態把握を理解させる。			期末試験 100% (100点換算で60点以上は合格)			
教科書等	1)臨床医学総論 第2版	使用器材	PC及びタブレット、液晶プロジェクター、ホワイトボード				
週	授 業 項 目 ・ 内 容						実施結果
第1週	「中期試験の解説」						
第2週	「臨床検査法;全血球算定」 血液検査に関する概要と、血球成分が示す病態について学 ぶ。 教科書1)pp.162-3, p.175, 178, pp.248-9						
第3週	「臨床検査法;髄液検査、生化学検査①」 髄液や血清中にある成分や酵素が示す病態 について学ぶ。 教科書1)pp.164-8, 176-80						
第4週	「臨床検査法;生化学検査②」 血清中にある成分や酵素が示す病態について学ぶ。 教科書1)pp.164-8, 176-80						
第5週	「症候論;頭痛、顔面痛」各症候がみられたときに鑑別するための病態や検査について学 ぶ。 教科書1)pp.182-5						
第6週	「症候論;歯痛、眼精疲労、鼻汁・鼻閉、めまい、耳鳴、難聴」各症候がみられたときに鑑別 するための病態や検査について学ぶ。 教科書1)pp.186-92						
第7週	「症候論;咳・痰、呼吸困難、血痰、咯血」各症候がみられたときに鑑別するための病態や 検査について学ぶ。 教科書1)pp.193-8, 256-7						
第8週	「症候論;動悸、胸痛、胸水」各症候がみられたときに鑑別するための病態や検査について 学ぶ。 教科書1)pp.198-202						
第9週	「症候論;食欲不振、悪心、嘔吐、腹痛、吐血・下血、便秘、下痢」各症候がみられたときに 鑑別するための病態や検査について学ぶ。 教科書1)pp.203-11, 232-4, 259-64,						
第10週	「症候論;排尿障害、乏尿・無尿、多尿」各症候がみられたときに鑑別するための病態や検 査について学ぶ。 教科書1)pp.214-8						
第11週	「症候論;月経異常、不正性器出血」各症候がみられたときに鑑別するための病態や検査 について学ぶ。 教科書1)p.212-3						
第12週	「症候論;ショック、意識障害」各症候がみられたときに鑑別するための病態や検査につ いて学ぶ。 教科書1)p.246-7, 264-6						
第13週	「症候論;整形外科的疾患」各症候がみられたときに鑑別するための病態や検査につ いて学ぶ。 教科書1)p.223-30						
第14週	「総まとめ」学習内容の補填や試験対策などを行う。						
第15週	まとめ						
授業外 学習指示等	1 これまでの診察法を用いた内容になりますので、前期・中期で修めた内容を復習する必要があります。授業中について いけなかった範囲や忘れてしまった内容は全て洗い出し、ノートにまとめ、知識の補填に努めていきましょう。						

令和3年度

授 業 計 画 書

学科・学年	鍼灸学科 2年	科目名	臨床はりきゅう実技 ①	授業時期	後期	授業時数	30
実務経験	鍼灸院にて施術業務に従事中	担当	和泉尚子	授業方法	実習	単位数	1
到達目標	基礎鍼灸術((片手挿管法、切皮、旋撚法、送り込み刺法、雀啄法等)を習得する。また各部位における基本的な刺鍼法を修得する。			評価方法			
授業概要	担当教員が当日の施術について説明し、その後ペアを組み実際の治療と同様の流れで施術を進めていく。			定期試験 100% (100点換算で60点以上で合格)			
教科書等	経絡経穴概論	使用器材	ステンレス鍼、艾、線香、ライター				
週	授 業 項 目 ・ 内 容					実 施 結 果	
第1週	小児鍼①						
第2週	小児鍼②						
第3週	小児鍼③						
第4週	小児鍼④						
第5週	小児鍼⑤						
第6週	鍼通電療法①						
第7週	鍼通電療法②						
第8週	鍼通電療法③						
第9週	鍼通電療法④						
第10週	鍼通電療法⑤						
第11週	その他の鍼法①						
第12週	その他の鍼法②						
第13週	その他の鍼法③						
第14週	その他の鍼法④						
第15週	まとめ						
授業外 学習指示等	1 講義に臨む前に教科書の該当箇所を読んでおき、分からない所があればそれらを書き出しておくこと 2 復習は、特にその日の授業の重要事項をその日のうちに振り返ること						

令和3年度

授 業 計 画 書

学科・学年	鍼灸学科 2年	科目名	臨床はりきゅう実技 ②	授業時期	後期	授業時数	30
実務経験	鍼灸院にて施術業務に従事中	担当	和泉 尚子	授業方法	実習	単位数	1
到達目標	基礎鍼灸術((片手挿管法、切皮、旋撚法、送り込み刺入法、雀啄法、等)を習得する。また各部位の診察法と脈診の実際を修得する。			評価方法			
授業概要	担当教員が当日の施術について説明し、その後ペアを組み実際の治療と同様の流れで施術を進めていく。			定期試験 100% (100点換算で60点以上で合格)			
教科書等	経絡経穴概論 痛みのマネジメント	使用器材	ステンレス鍼、皮内鍼				
週	授 業 項 目 ・ 内 容					実施結果	
第1週	基礎鍼灸術(頸部)①						
第2週	基礎鍼灸術(頸部)②						
第3週	基礎鍼灸術(頸部)③						
第4週	基礎鍼灸術(頸部)④						
第5週	基礎鍼灸術(頸部)⑤						
第6週	基礎鍼灸術(頭部)①						
第7週	基礎鍼灸術(頭部)②						
第8週	基礎鍼灸術(顔面部)						
第9週	美容鍼の基礎①						
第10週	美容鍼の基礎②						
第11週	美容鍼の基礎③						
第12週	美容鍼の基礎④						
第13週	美容鍼の基礎⑤						
第14週	美容鍼の基礎⑥						
第15週	まとめ						
授業外 学習指示等	1 講義に臨む前に教科書の該当箇所を読んでおき、分からない所があればそれらを書き出しておくこと 2 復習は、特にその日の授業の重要事項をその日のうちに振り返ること						

令和3年度

授 業 計 画 書

学科・学年	鍼灸学科 2年	科目名	臨床はりきゅう実技 ③	授業時期	後期	授業時数	30
実務経験		担当	太田和宏	授業方法	実習	単位数	1
到達目標	1. 鍼灸臨床で頻用する経穴を取穴出来るようになる。 2. 取穴した経穴に施灸できる技術を身につける。			評価方法			
授業概要	灸臨床に必要な各部位の取穴技術と基本的な施灸技術を修得する。			定期試験 100% (100点換算で60点以上で合格)			
教科書等	ツボ単	使用器材	白板、ベッド、鍼灸治療道具				
週	授 業 項 目 ・ 内 容					実施結果	
第1週	ペーパーに施灸(半米粒大) 腰部要穴の取穴と施灸						
第2週	ペーパーに施灸(半米粒大) 腰部要穴の取穴と施灸						
第3週	ペーパーに施灸(半米粒大) 手少陽三焦経の前腕部の取穴と施灸						
第4週	ペーパーに施灸(半米粒大) 手少陽三焦経の手部・前腕部の取穴と施灸						
第5週	ペーパーに施灸(半米粒大) 手少陽三焦経の手部・前腕部の取穴と施灸						
第6週	ペーパーに施灸(半米粒大) 手太陰肺経の手部・前腕部の取穴と施灸						
第7週	ペーパーに施灸(半米粒大) 手太陰肺経の手部・前腕部の取穴と施灸						
第8週	ペーパーに施灸(半米粒大) 手太陰肺経の手部・前腕部の取穴と施灸						
第9週	ペーパーに施灸(半米粒大) 手少陰心経の前腕部の取穴と施灸						
第10週	ペーパーに施灸(半米粒大) 手少陰心経の手部・前腕部の取穴と施灸						
第11週	ペーパーに施灸(半米粒大) 手少陰心経の手部・前腕部の取穴と施灸						
第12週	ペーパーに施灸(半米粒大) 手厥陰心包経の前腕部の取穴と施灸						
第13週	ペーパーに施灸(半米粒大) 手厥陰心包経の手部・前腕部の取穴と施灸						
第14週	ペーパーに施灸(半米粒大) 手厥陰心包経の手部・前腕部の取穴と施灸						
第15週	まとめ						
授業外 学習指示等	1 講義に臨む前に教科書の該当箇所を読んでおき、分からない所があればそれらを書き出しておくこと 2 復習は、特にその日の授業の重要事項をその日のうちに振り返ること						